

活力みなぎる緑の郷土

議会だより

なかしべつ



誓いのことば



平成17年中標津町成人式

主な内容

行政報告・教育行政報告	P 3
一般質問	P 4 ~ 8
委員会報告	P 9 ~ 10
議会議決	P 11 ~ 12
研修視察	P 13
特集	P 14
行事関係	P 15

平成17年1月

No. 64

平成16年

12月定例会

平成16年12月定例会は、12月13日開催されました。

今回は西澤雄一町長就任して最初の定例会となり、一般行政報告・教育行政報告のあと、一般質問には7名が10項目について町長・教育長の考えを質しました。

一般会計他各会計の補正予算では事業等の確定により減額補正となっています。

決算審査特別委員会より平成15年度決算認定の報告、合併特別委員会の審議終了報告がありました。



新潟県中越地震もあって防災のあり方が議論となっている折の中標津消防団出初式。

消防団活動は町民に大きく期待されています。

一般行政報告

要望等について

土地改良事業団体連合会や根室地方総合開発期成会として、道並びに関係省庁・国会議員に対し、農林水産業・農山村の振興の確立、道路網の整備、北方領土対策の充実、自治体病院に対する支援体制の確立など要望を行いました。

寄贈金品について

現金で1件、30万円、物品で2件。社会福祉協議会に対し、現金で33件、百40万5千円の善意が寄せられました。

中標津町・羅臼町

合併協議会の協議

状況について

第12回（10月20日）新市建設計画の協議、「北海道に支援を期待する事業」の審議。

第13回（11月10日）新市建設計画の決定。合併協定書の調印。

中標津町が羅臼町と合併の可否を問う住民投票の結果

11月28日の住民投票で、投票資格者数1万8千6百7人の結果、合併に賛成は、4千3百85票で、反対は、6千8百10票です。

今回の住民投票は、可否の判断は町民の意志として尊重し、投票した6割の方が反対の意思表示をしており、結果



住民投票、開票状況

を重く受け止め、現時点では羅臼町との合併は断念せざるを得ないと判断しました。

今、地方自治を取り巻く環境は、地方分権や三位一体の改革など時代の転換期に直面し、行財政運営は益々厳しさを増し、自己決定、自己責任が問われてまいります。今後、も近隣町との協力、連携を図りながら、この地域の中核都

教育行政報告

芸術文化振興事業

について

57回目の芸術文化祭は10月21日より開催され、芸能発表では日舞・洋舞・合唱・和琴など26団体4百63名の出演がありました。

期間中、総合展覧会、合同華展、お茶会、文化パザール、美術展が開催され、11月7日の文化講演会では、アルビニストの野口健さんが「エベレストからみた日本社会」と題

市を目指す更なる努力と中標津町の未来を行政、議会、町民が一致協力し、地域の発展に努力してまいります。

平成16年度建設工事の発注状況について

発注は百62件、22億2千73万9千円です。

して、富士山のゴミ清掃や国立公園の環境保護活動などの講演をいただきました。

22回目の計根別文化祭は、10月16日から開催されました。「ダンスin計根別」をはじめ、各文化サークル12団体・幼稚園・小中学校・老人クラブ・農高生徒などによる総合展覧会やフォークダンス大会も行われました。

総合文化会館は来年、開館10年を迎えますが、年間14万人の方々が文化活動に参加しています。16年度には百団体、加盟者3千百1名と大きく増

加しており、自主的生涯学習の中核施設として機能が発揮されたものです。

中標津高校合唱部の全国大会出場について

「第57回全日本合唱コンクール北海道支部大会」で金賞を受賞し、10月30日東京で開催の「全日本合唱コンクール全国大会」に出場し、大会において、合唱部員37名は、ハーマニーの美しさが高く評価され、金賞の栄誉に輝きました。



全国大会で金賞の栄誉

あなたにかわって町政の考え方を質す

7名の議員が町理事者に質問しました。
その内容を要約し掲載します。

一般質問

町税の滞納実態と徴収は

柴野忠征 議員

徴収の具体的な取組み

町 長

質問

町の税等滞納額は、7億5千万円を越えている。税の徴収方法、取組み状況、直近の滞納額、件数、税目を示し願いたい。

町長答弁

13年に対策本部を設置し、収納窓口の充実、臨戸徴収の強化給与等差押え、国保保険証の短期証発行などを実施してきた。16年度当初の滞納繰越は、町



税務相談窓口

税で前年比1千8百20万円減の2億5千7百70万円(約1千6

百件)、国保税は、3億8千3百万円(約1千3百件)、税以外の滞納繰越は、1億百80万円(企業会計を除く)。

自主納付向上対策として、広報、回覧で税務情報、各税の納期を案内。上下水道料金はコンビニでの納付を実施。今後、他の税等収納金についてもコンビニでの取扱いを検討する。

滞納整理対策としては、強化月間を設定し、滞納者に厳しく臨むとともに、財産等の差押え、工事入札や公住人居申請時における納税証明書の添付等も実施している。

再質問

一、年金受給月に合わせ納期を変更できないか。
二、行政責任者としての対応、取組みがあるか。

町長答弁

一、国保税は6月から11月までの6期で納期は変更できない。
二、担当者を集め主旨説明・徴収方法を強く指示した。

車椅子用トイレの標識設置と公衆トイレ改善

渡邊将史 議員

利用者不便解消のため検討

町 長

質問

町には障害者手帳の交付を受けている方が約八百名います。町内に車椅子用トイレの標識が設置されていないことから、町民、旅行者が不便を感じている。車椅子用トイレのある公共施設に標識を設置できないか。町の財政状況が厳しいことは承知しているが、障害者の方々の利便性を考慮し設置する考えがあるか。

次に公衆トイレの改善についてですが、現在、多くの家庭のトイレが洋式になっています。

公衆トイレを全て洋式化することが望ましいので、早急に改善を求めます。特に、養老牛と当幌のトイレについては簡易洋式でも良いから改善できないか、町長の考えを聞きたい。

町長答弁

町民が車椅子用トイレを使用



する場合は、公共施設を利用しているのが実態かと思われます。そのため、車椅子用トイレの案内標識は設置していない現状であります。道路を管理している関係機関に案内標識設置を要望し、その中に車椅子用トイレの表示を盛り込んでいきたい。

公衆トイレ改善についてですが、管理は週二回、郡部のトイレは、冬期間週一回の清掃を行



公衆トイレ

っております。生活様式の変化に伴い、家庭においても洋式トイレが主流を占めているなか、利用者の意見等を踏まえ、財政状況をも考慮し、出来る所から検討してまいりますのでご理解願います。

自立の痛みと9割予算

松村康弘 議員

自立に向けての改革

町 長

質問

この度の合併、他日を期すために、しっかりと総括すべきである。私は住民投票の結果を僅差と考え、その上で議会の責任を果たす道を求めたが、大差を予測できなかった不明を深く恥じ、自らを責め、その反省に立つて今後の自立の痛みと、国の諸計画の動向、町広報紙に掲載された9割予算の真の姿について問いたい。

平成18年度の町税は、どのような根拠を持って確保されるのか説明を求めたい。

新たな地域振興策が実施され成果が挙げられなければ、地域の景気は失速し、墜落は必至なのに、その危機感はどこにあるのだろうか。

給与費を切り込まずに、民間への影響を1割以内に収めることは可能なのかお聞きする。

地方自治政府時代の地域競争と職員の意識改革、民間研修の必要性

松村康弘 議員

対象を拡大し、逐次実施

町 長

質問

三位一体の改革とは3割自治からの脱却で、国のシステムが根本から変わり、地方自治政府時代の到来を意味するものです。そのなかにあつて「地方力」あるいは「地域力」と言われる概念が注目されています。地域間の競争原理は公務員にも適用され、そのことを強く自覚した職員によって地域力強化が図られるのではないだろうか。

町長答弁

町税の推計は、統計的手法により、過去の実績を延長して表記した。

自立を選択した以上、これまで同様のサービス提供はできず、我慢と負担増は避けられない。また、少数精鋭の自治体組織への意識改革を進め、給与費についても、人事考課制度の導入、評



地方交付税と町税の見通しのグラフ

価の処遇への反映、目標管理制度の導入の他、財政の危機的状況下での取組みとして、人事院勧告に準じるのではない町独自の見直しを視野に入れ改革を進める。行政からの情報提供は現時点では広報誌がベストであるが、合併問題で提起された情報提供の仕方や、意志決定のあり方など、課題も明らかになった。今後十分に検討し、町政運営に活かしてまいりたい。

町長は、12年前に議員として最初の一般質問で「町職員の民間研修」の必要性を質したが、そのことは達成されていると考ええますか。

今一度、民間への研修について推進しませんか。

町長答弁

国の補助金や地方交付税の大幅な削減が見込まれ、一方で国からの権限委譲も進み、住民自治が拡充し、「自己決定」「自己責任」が大きく問われている。それを見据え、「中標津町経営再生プログラム」を本年度から具

体的に推進することにより職員の意識変革は、市場原理の導入や、成果目標とその実現への責任の明確化など、新発想の行政改革の実施とともに進んできたが、更に一層進めたい。

次に町職員の民間への研修ですが、民間の市場・競争原理を知り、行政運営に導入を図ることとは地域の競争力を高め、活性化を推進することになり、極めて大切なことと考える。従来からの研修に加え、経済団体との職員交流を含め、対象を広範に拡大して逐次、実施していきたい。



更に厳しさを増すことが予想される商業

FMコミュニティ放送の必要は

松村康弘 議員

企画書をもとに研究を

町 長

質問

合併論議のなかで、合併のメリット、地域の未来が不透明などの話を聞いたが、町は住民説明会や広報などを総動員して精一杯やったと考える。三位一体改革や地方財政計画など一言で語れない前提の上に新市の建設計画は、説得力に富み、十分に戦略的視点に立っていた。しかし、読み砕いてはいただけなかったことから、聴いていただく

合併論議のなかで、合併のメリット、地域の未来が不透明などの話を聞いたが、町は住民説明会や広報などを総動員して精一杯やったと考える。三位一体改革や地方財政計画など一言で語れない前提の上に新市の建設計画は、説得力に富み、十分に戦略的視点に立っていた。しかし、読み砕いてはいただけなかったことから、聴いていただく

解説、すなわちFMコミュニティ放送が必要ではないか。防災無線の設備がなく、災害に対する備えとして、また、全国ネットへの情報発信ツールとして実現に尽力されてはいかがか。

町長答弁

以前から同放送については町担当者と商工会によって先進地視察などの研究を行った。

児童虐待の防止と対応

佐藤武志 議員

関係機関の連携で早期対応

町 長

質問

児童虐待は毎年増加しており、全国の児童相談所で、15年度の相談処理が2万5千件にもなっています。今年4月、児童虐待防止法・児童福祉法が改正され地方自治体の役割が強化されました。

虐待を早期に見出す方法、また、具体的な防止についてどのような対応策を取られているのか。家庭での育児やしつけ方

について悩まれている保護者に対する相談や対応については。

町長答弁

このことで大切なことは「子どもの心身を守ること」です。本町でも15年度29件の相談があり、関係機関連携のもと対応しています。なお、虐待の早期発見と防止策について、本町では子育て支援の部署を福祉課に設置し、さらに家庭環境におい

初期投資2千2百万円、収入が3千7千万円程必要と聞いている。近年ではNPOによる運営が脚光を浴びており、ボランティアの参加により、幅広い活動が成功している。

民の努力に負うところが多い事業ではあるが、行政として、どのように応援していけば良いのか、例えば開局までの事務手続きの支援、初期投資や、継続的に必要となる経費に対する関わりなど見極めることは多い。この際、民間の皆様より企画書を提案していただき、それをた

ての子育ての悩み相談も含め「子育て支援・虐待防止ネットワーク」を立ち上げました。このネットワークは、学校・

幼稚園・保育園・民生委員の主任児童委員・保健センター・児童サービスセンター・役場関係部署等で構成。虐待の対処に関する機



子育て支援の案内パンフレット

今後各機関が情報を共有し、連携して組織的、継続的対応をすることににより、発生する事例への早期対応をしていきたい。

関として釧路児童相談所・町立病院・保健所・警察署・人権擁護委員をネットワークの構成メンバーに加えて、ケースごとにおける関係者との調整、連携を図っています。また、年2回の全体ケース検討会議を実施しています。



取組みが期待されるNPO法人伝成館まちづくり協議会

たき台として、地域振興の有効な手段として研究を進めていきたいと考える。

へき地保育所の存続を構造改革特区で

安達 勉 議員

可能性があれば申請

町 長

質問

へき地保育所の地域で果たす役割は非常に大きいですが、少子化、また、離農による園児の減少で、統合の話もある。へき地保育所は広範囲で、送り迎えに時間がかかる。町も農業後継者対策を積極的に進めており、子どもの保育は重要な問題だ。

地域の小学校に保育所を併設し、老人クラブとの連携を持って一貫教育を行うことが、相乗

効果、また、経費の削減につながると思う。道は規制緩和や権限移譲を受け、本年度中にチャレンジパートナーの導入を目指している。園児10名以下でも補助金が受けられるよう特区申請する考えはないか。

町長答弁

町の保育計画で、園児10名を三年間割った場合休所とし、休所後15名の入所園児を継続して

三年間確保不可能な場合は、隣接保育所に統合する。

統合には、児童福祉の重要性を鑑み、一定区域のなかで拠点保育所と位置づける。拠点保育所は10名割っても存続させ、五ヶ所程が適当。10名を割っても補助金が継続できるか、関係機関と協議する。

再質問

特区申請すると考えてよろしいか。

町長答弁

10名割っても補助金が受けら

防災対策

杉本 剛 議員

消防と連携して災害対策

町 長

質問

10月23日の新潟県中越地震、11月29日の釧路沖地震では改めて地震の恐ろしさを痛感しています。町民は大地震の際、敏速な行動がとれるか不安の毎日と思われます。

町の防災には担当専門知識者を配置し、町内会と連携して「災害から身を守る」ことを町民に浸透させる訓練が必要と思

うがいかがですか。

本町も東方沖地震でバイパスの橋が使用不能になり、標津川を挟んでの街は橋が崩壊した場合二分化されます。消防自動車の配置も中標津消防署、消防団と協議検討の必要があると思うかががですか。

町長答弁

新潟中越地震被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。防災対策では町民自ら命・財産を守る努力と対策基盤の整備を進めています。また町民の防

れるか、各地の事例、特区に該当するか、可能性があれば申請を進める。



保育所のこどもたち

災意識高揚のため、チラシの配布、ホームページへの情報掲載など「災害から身を守るために何をすべきか」を周知していきます。

専門知識者の配置は現下の雇用情勢では難しく、災害発生時の対応は消防署と連携強化して対策に努めてまいります。

地震災害時の橋崩壊対応については従来からも、町づくりを進めるなかで検討されている経緯があり、防災対策の観点から消防事務組合、消防署と協議を進めています。



総合防災訓練（10月4日）

民放ラジオ中継施設の設置

吉田 貢一 議員

合意が得られるよう取組む

町 長

質問

以前から住民要望が強い民放ラジオ放送中継施設の設置に対し、青年会議所等が中心となり、何度が放送局に要請してきましたが、実現に至っておりませんが、町の考え方をお聞きます。

町長答弁

市町村が難視聴解消に向け施設を設置する場合、国や道の補助制度があります。しかし、これには自治体の大きな負担が伴い、きわめて困難ですが、長年の懸案事項でもあり、放送事業者や国、道の合意を得られるように取組んでまいります。

町主催行事見直し

吉田 貢一 議員

必要性を見極めながら対処

町 長

質問

経済情勢が非常にきびしい時期ですので、町主催の行事を見直す必要があると思われま。廃止・移譲案を示して質問します。

〔廃止案〕

一、新年交礼会

町民がこぞって参加しているとは言い難い状況で、出席者の大半が、役職に就いている方々です。

二、各賞受賞記念祝賀会

〔移譲案〕

一、殉公者追悼式

戦没者に関しては遺族会に移譲し、消防殉職者はすでに全道消防協会で行っています。

〔再考案〕

一、成人式

二、中標津町表彰式

町長答弁

新年交礼会、中標津町表彰式につきましては、町主催が必要と考えております。

各賞受賞記念祝賀会は町としての祝意の方法を検討します。殉公者追悼式につきましては、管内的にも実施されていますので、その動向を見極めながら対処していきたい。

教育長答弁

成人式については、この地を離れている方も参加できるように一月七日に設定しました。現在は、記念写真など簡素にし、約一時間の式典にしております。

今後、経費の節減を図りながら、継続してまいります。



町新年交礼会



12/18(土) 08:00~
ウィークエンドバラエティー
日高昭郎ショー



平成15年度

中標津町各会計決算を認定

決算審査特別委員会報告

(報告書の全文を掲載します)

平成16年9月定例会におい

て、当委員会に付託された平成15年度中標津町各会計の決算認定審査を次のとおり実施したので報告いたします。

決算審査特別委員会

委員長 飯島 佐市

1、件 名

平成15年度中標津町各会計決算認定審査

2、審査月日

平成16年9月24日から11月9日までの6日間

3、審査結果

平成15年度中標津町一般会計他8会計の決算について、慎重に審査した結果、各会計とも適正かつ効率的

な予算執行がなされ、地域の発展と町民生活並びに福祉の向上が図られていることに深く敬意を表します。

しかし、各会計の審査過程においては研究・検討すべきこと、さらに個別に創意工夫と改善すべき事項も見受けられますので特に次の点に留意して、今後の行政執行にあたっていただきたい。

歳入にあつては、景気の長引く停滞の影響や行政改革による交付税や補助金等、さらに大幅な減額が予想され、厳しい財政状況ではあるが、常に新しい情報を把握の上、的確に対処されたい。

また、前年度決算でも指摘されている各会計の不納欠損額は多少減少しているが、収入未済額の増加は、町民負担

の公平性と財源確保の観点からも厳しく指摘しなければならぬ。

町長を本部長とする中標津町町税等収納向上対策推進本部の積極的な推進により、町税において収納率の向上が見られる。

しかし、各種使用料・負担金等の一部について収納率が低下しており、さらなる努力が求められている。

各部局間の横の連携をさらに密にし、悪質滞納者に対しては給与等の差押えを含め、毅然とした姿勢で対処するよう強く要望する。

歳出においては、厳しい財政状況のなか、各種事務事業の見直し・経常経費の見直しなど、あらゆる角度から歳出削減に取り組んできたことは評価するところであるが引き続き努力を願いたい。

以上、審査意見として述べましたが、平成15年度中標津町各会計歳入歳出決算は適当なものであると認め認定する。

15年度各会計を審査する特別委員会



住民投票の結果を尊重し

委員会審議終了

合併問題特別委員会報告

(報告書の全文を掲載します)

平成15年12月定例会において、当委員会に付託された調査事件について、調査した結果を、次のとおり報告いたします。

1、調査事件

合併問題について

経過、結果等の報告を受け、また各委員から質疑、意見等を受けました。

2、委員会開催日

平成15年12月16日、平成

16年3月8日、4月7日、

5月11日、6月18日、9月

22日、10月8日、10月15日、

10月29日、12月6日

計10日間

合計10回の特別委員会とさらに小委員会を4回開催し慎重に論議をいたしました。

特に、委員会において新市の

の名称、議会議員等の定数及び任期、

新市建設計画、中標津町・羅臼町の財政状況、

来年3月が申請期限とされる合併特別による優遇策などについて論議

が集中いたしました。

本年8月29日に実施された中標津町長選挙および中標津町議会議員選挙を受けて開催された10月18日の第4回臨時

会において、議員提案により「中標津町が羅臼町と合併することについての可否を問う住民投票条例」案が提出され

ました。

以上、本委員会の経過報告と町長の合併に対する判断を了承することをもって本委員会の報告とさせていただきます。

賛成多数で可決されました。

11月28日に実施された住民投票においては、投票率60・76%、合併反対6,810票、合併賛成4,385票で合併反対という結果になりました。

この投票結果を受け12月6日開催の本特別委員会において、町長から中標津町と羅臼町の合併について断念する旨報告がありました。

合併の如何にかかわらず、近隣3町とはすべての面において極めて密接な関係にあり、町長、議会をはじめとして住民とともに良好な関係を構築してゆく努力が必要であるうと思えます。

しかし合併問題特別委員会は、住民投票の結果及び町長の判断を尊重し委員会の使命は終了するものとなりました。

以上、本委員会の経過報告と町長の合併に対する判断を了承することをもって本委員会の報告とさせていただきます。

す。



特別委員会で合併断念を表明する西澤雄一町長

合併問題特別委員会

委員長 笹谷 芳夫

3、調査の経過と結果

本特別委員会は、平成15年

12月定例会において「中標津

町と羅臼町の合併問題に関する

件について調査」を目的に

議長を除く23人の委員で設置

されました。

以来、中標津町・羅臼町合併協議会の本町議会選出委員、

町の合併担当部局から合併協議

会の進行に合わせ、協議の

第4回臨時会 12月定例会

第4回臨時会

平成16年度

一般会計補正予算

補正予算は2千7百76万9千円を追加し、総額百3億8千6百43万3千円となりました。

主なものとして、会館建設事業補助千86万4千円（西町町内会館増築2百86万4千円、東泉町内会館「泉町民の家」新築8百万円）の増額補正。

住民票等自動交付機の更新（総合文化会館設置機器）経費で千50万円の増額補正
中小企業融資保証料補助で5百万円の増額補正。

中標津高等学校全日本合唱コンクール全国大会出場助成等として、百40万5千円の増額補正。

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

中標津町教育委員会教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部改正

これらの条例改正については、本町の厳しい財政状況に鑑み、町長、助役、収入

役、教育長の12月支給分期末手当を0.1ヶ月引き下げ、さらに加算率の20%削減を行いました。

また、一般職の加算率についても、特別職と同様に20%削減措置を講じております。中標津町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

今回の改正については、昨年12月から、1年間の暫定措置で議員報酬の引き下げ（3%）を実施してまいりましたが、今回議員提案で、この引き下げ期間をさらに1年間延長することにしました。

12月定例会

補正予算

一般会計予算は2千8百41万4千円（うち住民投票予算8百49万6千円）増額されて総額は百34億1千4百84万7千円となりました。

国民健康保険事業特別会計予算は百13万7千円減額されて総額は23億1千4百82万5千円となりました。

介護保険事業特別会計予算は百53万9千円減額されて総額は9億3千92万5千円となりました。
町営牧場特別会計予算は7百7万3千円減額されて総額は1億2千90万

円となりました。下水道事業特別会計予算は4百14万円減額されて総額は15億4千3百33万1千円となりました。

簡易水道事業特別会計は2千7百11万4千円減額されて総額は1億9千3百83万7千円となりました。

水道事業会計は9百50万1千円減額されて総額は7億3百53万2千円となりました。町立中標津病院事業会計は8百56万4千円減額されて総額は45億9百13万2千円となりました。

教育委員会委員の任命に同意しました。

事



氏名 小林 茂氏
住所 標津郡中標津町字中標津28線北30番地
生年月日 昭和25年6月12日生
任 期 平成16年10月22日～平成20年10月21日

人



氏名 日下 雪夫氏
住所 標津郡中標津町東12条北9丁目6番地31
生年月日 昭和33年8月4日生
任 期 平成16年10月22日～平成20年10月21日



条例の制定と改正

- 中標津町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 町の厳しい財政状況を鑑み、議員提案による議員の期末手当（12月支給分）を0.1月分の引き下げ及び加算率を15%から12%に引き下げた、寒冷地手当支給に関する条例の一部改正
- 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- 職員の寒冷地手当支給額の引き下げ及び支給方法の変更を行なった。
- 中標津町立学校設置条例の一部を改正する
- 平成17年4月1日より西竹、養老牛中学校を廃止して計根別中学校に統合する。
- 町立中標津病院使用料及び手数料条例の一部改正
- 介護保険法の適用を受ける者に、介護保険法に基づく使用料及び手数料の負担規定

その他議決事項

- 財産の取得について
 - 中標津町運動公園用地の取得（三年間分割取得）
 - 面積 3万7千6百88.14㎡
 - 取得価格 9千4百22万1千円
 - 取得先 北海道森林管理局
- 議員定数削減特別委員会を設置
 - 議員定数（現行24名）の削減を目的に特別委員会を設置した。
 - 委員は議員24名（全員）で構成。委員長には熊倉重樹議員、副委員長には平川武雄議員を選出し、今後定数削減に向け審議していく。

中標津町選挙管理委員会委員及び補充員を選出する

選挙管理委員会委員

- ・ 斉藤 法 栄 氏
- ・ 正城 純 一 氏
- ・ 太田 博 氏
- ・ 端 佳 代 氏

選挙管理委員会補充員

- ・ 鈴木 勝 也 氏
- ・ 豊 田 高 明 氏
- ・ 若 狭 満 江 氏
- ・ 佐 藤 擴 氏

任期は平成16年12月23日より平成20年12月22日までとなっています。

意見書・条例改正・決議

- 議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
 - 提出者 熊倉 重樹 議員
- 郵政民営化反対に関する意見書
 - 提出者 杉本 剛 議員
- 「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書
 - 提出者 渡邊 將史 議員
- 教育基本法「改正」に反対し、憲法・教育基本法の理念を生かした教育の実現を求める意見書
 - 提出者 佐藤 武志 議員
- 日米地位協定の抜本改正を求める意見書
 - 提出者 松村 康弘 議員
- 「介護福祉士試験の在り方等介護福祉士の質の向上に関する検討会報告書」に係る資格取得方法の見直しを求める意見書
 - 提出者 赤波江利夫 議員
- 平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書
 - 提出者 殿守 富 議員
- 北方領土問題の解決促進に関する決議
 - 提出者 吉田 辰男 議員

研修と視察

管内町議会議員研修会

(11月5日開催)

管内議長会主催の町議会議員研修会が、中標津町のトーヨーグランドホテルにおいて開催された。

講師に大地みらい信用金庫常勤理事、辻昌一氏を招いて「根室管内の経済動向」と題して講演が行

われました。

管内の景気動向から水産業、酪農業、建設業、小売業、観光産業の動向と年次別生産数量等についての説明がありました。

管内から議会議員・事務局合せて約70名で、うち中標津町からは26名の出席でした。



研修会で講演する辻昌一氏

研修会に先立ち、管内議長の表彰が行われました。

受賞は、中標津町議会杉本剛議員が4年間副議長の職で、同じく松村康弘議員が10年以上議会議員の職で、それぞれ表彰されました。

管内林活議連で

別海町森林組合を視察

管内1市4町の議員有志で構成する根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟では10月28日、造林や苗畑事業、オガクズ加工施設を経営している別海町森林組合を視察しました。

視察では島崎参事から森林組合の事業概要について説明を受けたあと、オガクズ加工施設を見せてもらいました。

別海町森林組合は9百34名の組合員がいて、造林・苗畑事業を実施しています。また、カラマツ間伐材、製材残材、家屋解体材を原料にオガクズを生産しています。

オガクズは牛舎の糞尿処理に活用される有望な敷料となっています。

当日の参加は40名



島崎参事の説明を聞く参加者

であったが、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟は全道及び全国組織となっており、国有林野事業の経営改善に対する要請活動・地球温暖化防止対策の推進・森林による国土保全対策の充実・森林整備を目的とする新たな財源確保対策の検討などの取組みを行っています。

産業常任委員会、

農協役員との

意見交換会開く

1月8日、J A中標津会議室で議会産業常任委員会とJ A中標津役員との意見交換会が開催されました。

今回はJ A中標津側の要請を受けて開催され、J A中標津の現況、第5次地域農業振興計画、担い手創出協議会等の説明があり、意見交換を行っています。

J A中標津は酪農家戸数2百7戸で乳用牛頭数2万6千9百5頭、牛乳生産量は11万7千百14tで生産額にすると82億8千6百万円になっています。

平成16年11月に施行された「家畜排せつ物処理法」対策や酪農家後継者対策について意見交換し、町の基幹産業をしっかりと守っていく方向で意見集約が行われました。



シリーズ

中標津町の歩み

中標津町の誕生

中標津町が発展するなかで昭和25年6月16日には町の代表企業であった雪印乳業中標津工場が全焼している。再建は不可能か」と心配されたが工場長の藤田保平、道議会議員の児玉由一の力によって、ただちに再建計画が樹立され、26年6月には新工場が完成して酪農業も軌道に乗ってきた。25年9月には都市計画法の指定をうけ、中央通りの側溝、街路樹の工事がはじまった。また、施設面では労働会館・警部補派出所・計根別上水道の全面改修・農村電化・魚菜市场・町立保育園と新設整備されていった。

昭和27年の「町勢概要」はつぎのように書いている。「中標津町は昭和21年標津村より分村、3年余で町制を施行するなど急進ぶりを見せた。分村当時の連担戸数約5百戸は、いまや千戸になんなんとしている。水道もあれば高等学校もある。労働会館も出来たし、公営住宅も出来た。まったくアメリカの西部開拓をみるようなマチだ。中標津町には人呼んで「中標津銀座」が

ある。数年前までは、この辺一帯は畑だった。それがいまではピツシリ家が建ち並んだ。グリーンの屋根、クリーム色の壁が美しい。余り距離のない銀座通りだが、そこには躍進の息吹きを感じさせられる」。

昭和27年4月、町長選挙があつたが現職に対抗馬なく、横田俊夫が無投票当選している。8月には町議選があり、定員26名に対し32名が立候補し、投票率は91・8%となっている。この年3月4日には震度5の十勝沖地震が発生し集合煙突が倒壊するなどの被害が町内各所にみられた。



藤田保平中標津工場長



児玉由一道議会議員

雪印乳業中標津工場の再建に努力した兩名



焼失後新築された雪印乳業中標津工場
当時は道内屈指の近代工場として注目された(26年)



十勝沖地震のつめ跡

行事関係

平成16年10月から12月までの行事関係

期 日	行 事 案 内	出 席 者 等	期 日	行 事 案 内	出 席 者 等
10月4日	建設常任委員会	委 員	17日	第48回町村議会議長全国大会及び地	議 長
4日	釧根林活連絡会議役員会	会長・事務局長		方分権推進総決起大会	
5日	議会広報特別委員会	委 員	18日	産業常任委員会	委 員
8日	標津依橋大規模草地一部事務組合臨 時会	議長他3名	18日	武部勤自民党幹事長来釧時要望会 (総合開発期成会)	副 議 長
8日	根室北部衛生組合臨時会	議長他3名	20日	東京中標津会総会	議 長
8日	合併問題特別委員会	委 員	23日	札幌中標津会総会	議 長
12日	議会広報特別委員会	委 員	12月2日	総務常任委員会	委 員
13日	議会運営委員会	委 員	6日	合併問題特別委員会	委 員
15日	合併問題特別委員会	委員欠3人	6日	根室北部廃棄物処理広域連合議会12 月定例会	議長他3名
18日	中標津町議会第4回臨時会	全 議 員	7日	建設常任委員会	委 員
19日	決算審査特別委員会	委 員	8日	議会運営委員会	委 員
20日	合併協議会(第12回)	議長他5名	9日	標津依橋大規模草地一部事務組合議 会12月定例会	議長他3名
21日	決算審査特別委員会	委 員	9日	根室北部衛生組合議会12月定例会	議長他3名
22日	決算審査特別委員会	委 員	9日	根室北部消防事務組合議会12月定例会	議長他3名
25日	決算審査特別委員会	委 員	9日	中標津町外2町葬祭組合議会12月定 例会	議長外4名
27日	合併問題特別委員会小委員会	委員欠1人	13日	中標津町議会12月定例会1日目	全 議 員
28日	根室地方林活議連協議会研修会	議 員 7 人	14日	産業・建設常任委員会	委員欠1人
29日	合併問題特別委員会	委員欠3人	15日	総務・文教厚生常任委員会	委 員
11月5日	根室支庁管内町議会議員研修会	議長他22名	16日	議会運営委員会	委 員
6日	根室地域総合開発期成会要望会	議 長	17日	中標津町議会12月定例会2日目	全 議 員
9日	決算審査特別委員会	委員欠1人	21日	議会広報特別委員会	委 員
10日	建設常任委員会	委員欠1人	22日	議会広報特別委員会	委 員
10日	合併協議会(第13回)	議長他5名	29日	議会広報特別委員会	委 員
15日	文教厚生常任委員会	委員欠1人			
17日	第29回豪雪地帯町村議会議長会全国 大会	議 長			

札幌中標津会・東京中標津会

(11月23日(火))



札幌とその近郊に住む中標津出身者でつくる札幌中標津会(佐々木純会長)が11月23日、札幌市内のホテルで結成15周年の総会と懇親会を開きました。会員約70名がふるさとの話に花を咲かせていました。

懇親会では、町長が町の近況などを報告しました。

また、結成15周年を記念して中標津町出身の方が主宰していますバンドを招聘し懇親会を大いに盛り上げていただきました。

(11月20日(土))



首都圏在住の中標津町出身者でつくる東京中標津会(伊藤駿司会長)の第17回総会と懇親会が11月20日、東京・九段下の九段会館で開かれました。会員約80名がふるさとの話に花を咲かせていました。

総会では若い世代の加入促進など、新年度事業を承認。懇親会では、町長が町の近況などを報告しました。

子どもたちの歓声がリンクにこだまします



運動公園のスケートリンクに子どもたちの歓声が上がリ、頬を真っ赤にしながラスケートをしている様子が見られる。17年度は球技場の建設が予定されています。最終完成の20年度には家庭菜園、バーベキュー広場、親水広場も利用できる予定です。

人と自然とまちが共生する エコスクール



トップライトから自然光が差ししている多目的室で吹奏楽の練習中。

中標津中学校校舎は15年2月に完成し、今、屋内体育館が造られています。建築に当たっては、自然との共生を考慮した環境志向型の学校（エコスクール）づくりを目指しました。そして、この学校の基礎的なエコに対する考え方を「環境にやさしい学校」「環境学習のできる学校」として具体的に建築計画に展開させたものです。



二〇〇五年は、おだやかに明けました。過ぐる二〇〇四年は、日本漢字検定協会が世相を表す漢字として「災」を発表した。数多い台風の襲来、中越大地震、スマトラ沖大地震・津波、さらに激化するイラク情勢、先の見えない拉致問題等、「災」が降りかかってきた一年でした。

二〇〇五年の漢字が「幸」や「和」となることを祈っているのは、私たちだけだろうか。

二〇〇五年の中標津町を展

望した時、町財政が依然として厳しいなか、理事者、議会、住民がそれぞれの立場で将来を見据え手を携えて進んで行くことが必要となります。

私たち議会広報特別委員会、この一年間議会と町民とのパイプ役として任務を果たしますので、よろしくお願います。

新潟県中越地震に
義援金送る。

中標津町議会議員会では平成16年11月に新潟県中越地震被災者に対し義援金12万円を日本赤十字社を経由して送金し、被災者の救援に貢献しました。

議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

中標津町役場
中標津町丸山2丁目22番地
TEL(01537)3-3111
FAX(01537)3-5333

議会事務局 内線502・503
にご連絡を...

- ・ホームページは
<http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは
nakasi-t@arens.or.jp

発行 / 中標津町議会
編集 / 中標津町議会広報特別委員会